

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	鍼灸理論4	
科目基礎情報					
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	配布資料				
担当教員情報					
担当教員	森田 義之	実務経験の有無・職種	有・鍼灸師		
学習目的					
鍼灸施術における治効理論や関連学説について学ぶ。鍼灸治療は古来より多くの方法が存在する。中でも、現在臨床の現場で使われている方法、効果があると考えられている方法論を学ぶことで、鍼灸師としての多様性を獲得することが目的である。また、その治効理論を理解することでより安全性を確保することが目的である。					
到達目標					
トリガーポイント鍼療法の概念・知識を提供、鍼灸臨床で使えるように理解をさせる。多くの治療法の中でもトリガーポイント療法は効果が実感できる方法として評価が高い。また、科学的な解釈も多く加えられており患者に対する説明も容易である。医師との共通言語としても使える内容ということもあり、理解しておくことが有用である。					
教育方法等					
授業概要	トリガーポイント療法で治療ができるような方法を教授する。まずは「トリガーポイント」とはどのようなものかという基礎的な理解から始まり、実際にはどのような理論で治療体系が構成されていくのかを学ぶ。また、できるだけ具体的に方法論を教授し、実際に使える知識として教授を行う。				
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	期末試験（筆記試験）		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	トリガーポイント鍼療法の概念①	トリガーポイント鍼療法の概念①			
2回	トリガーポイント鍼療法の概念②	トリガーポイント鍼療法の概念②			
3回	部位別のトリガーポイント鍼療法1	頸部疾患に対するトリガーポイント鍼療法ができる			
4回	部位別のトリガーポイント鍼療法2	頸部疾患に対するトリガーポイント鍼療法ができる			
5回	部位別のトリガーポイント鍼療法3	肩疾患に対するトリガーポイント鍼療法ができる			
6回	部位別のトリガーポイント鍼療法4	肩疾患に対するトリガーポイント鍼療法ができる			
7回	部位別のトリガーポイント鍼療法5	腰部疾患に対するトリガーポイント鍼療法ができる			
8回	部位別のトリガーポイント鍼療法6	腰部疾患に対するトリガーポイント鍼療法ができる			
9回	部位別のトリガーポイント鍼療法7	坐骨神経痛に対するトリガーポイント鍼療法ができる			
10回	部位別のトリガーポイント鍼療法8	坐骨神経痛に対するトリガーポイント鍼療法ができる			
11回	部位別のトリガーポイント鍼療法9	膝関節疾患に対するトリガーポイント鍼療法ができる			
12回	部位別のトリガーポイント鍼療法10	膝関節疾患に対するトリガーポイント鍼療法ができる			
13回	部位別のトリガーポイント鍼療法11	足関節疾患に対するトリガーポイント鍼療法ができる			
14回	トリガーポイント鍼療法の応用1	スポーツ疾患に対するトリガーポイント鍼治療ができる			
15回	トリガーポイント鍼療法の応用2	内科的疾患に対するトリガーポイント鍼治療ができる			